



### 観光振興・学校行政について

**道の駅整備に向けた取組について**

**問** 過去の考え方を踏まえた市長の今後の考え方は。

**答** 観光地域振興に資し防災としても活用できる位置で松井田インターから軽井沢インターまでの間がベターですが、西毛広域幹線道路沿線も視野に入れます。

**問** 多くの道の駅で珍しい野菜の販売やレシピの紹介、特産品の開発等の工夫が目立つが、担当職員の経験値や知識、発想力等の必要性は。

**答** 安中独自の魅力的な整備のため職員の知識の積み上げと計画立案のための発想力は必要です。

### 学校給食の課題について

**問** 給食調理業務を民間委託することについて、市長の考えは。

**答** 民間活力を導入し調理員欠員への対応ができ、安全で安心な給食の提供が図られると考えます。また調理員の継続雇用についても働きかけをし、賃金面で

も話をしていきます。

**問** 食材価格等上昇のなか現場の状況をどうとらえ、今後さらに高騰した場合の対応は。

**答** 現在は質・量を落とすことなく献立の工夫や食材の選定により対応しています。今後食材費に不足が出れば公費負担します。

**問** 給食費の無償化の考え方は。

**答** 事業継続については慎重に対応します。無償化は国が制度化し自治体へ財政措置されるよう国に対して要望していきます。



安中第一中学校の給食室

### 公共交通の整備について

**問** 乗合タクシー・デマンドタクシーの拡充や行路・時刻の見直しを検討してきた。その現状は。

**答** 令和3年度に板鼻栃谷戸方面への路線延伸を行い、デマンド運行では、病院等への乗り入れを開始しました。この見直し等により利便性が向上しています。

**問** 市長は、重点政策の中で、高齢者や運転免許返納者の移動支援として、乗合タクシーの拡充を掲げている。具体的な構想は。

**答** 令和3年3月にAーデマンド配車システムを提供している企業と連携協定の覚書を締結しました。締結以降、乗合タクシーの市内全域への拡大や、全日デマンド運行の導入等の実施に向けた調査研究を進めています。

**問** 一律定額料金で乗車でき、どこでも乗降できる乗合タクシーを運行すべきである。考えは。

**答** フルデマンドの導入や乗合タ



### 公共交通機関・観光振興・文化、芸術振興について

クシーの拡充は、運行距離の増

大、車両の増備などが想定され、利用者負担の軽減や、細やかな停留所の設置なども必要となります。利用者の利便性に最大限配慮しつつ、多くの市民や旅行者・来訪者に公共交通を活用していただけるように検討を進めていきます。

**その他、磯部温泉の活性化、碓氷峠の森公園周辺整備、市立美術館・ギャラリーの設置について質問しました。**



安中市乗合タクシー